

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 25日

郡山市長
椎根 健雄 殿

提出者

住 所 福島県郡山市笹川1丁目176番地

氏 名 ニッソーファイン株式会社郡山工
場 参与工場長 猪嶋 利昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 024-945-1886 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

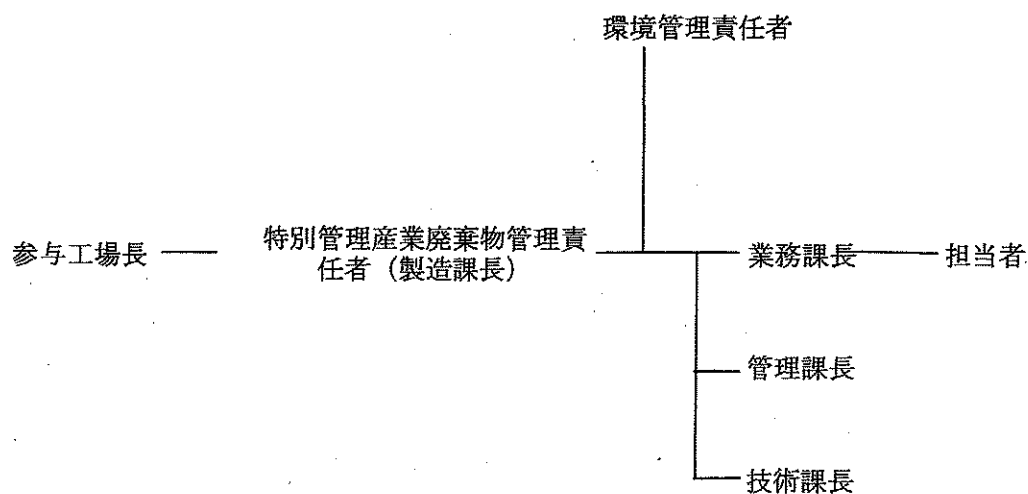
事業場の名称	ニッソーファイン株式会社郡山工場
事業場の所在地	福島県郡山市笹川1丁目176番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	22億円/令和7年実績
③ 従業員数	47名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	特管産廃物発生(当工場)→特管契約産廃処理業者委託運送業者が特管産廃物を特管契約産廃処理業者に運搬→特管契約産廃処理業者が中間処理(焼却)→特管契約産廃処理業者が委託契約している最終処分場で埋立処理して最終処分となる

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	排出量	760.32 t	0.94 t
	(これまでに実施した取組) 溶剤回収の効率化を図り、残渣等の排出を抑えてきた。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	排出量	700 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) これまでも実施してきた溶剤回収の効率化を更に強化して残渣等の排出量を極力抑えます。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油：溶剤回収の効率化を図り、残渣等の排出量を抑えた。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油：更に溶剤回収の効率化を図り残渣等の排出量を抑えます。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	自ら再生利用は行わない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	全処理委託量	760.32 t	0.94 t
	優良認定処理業者への処理委託量	760.32 t	0.94 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	溶剤回収の効率化を図り、残渣等の排出量を抑えてきた。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸
	全 処 理 委 託 量	700 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	700 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで実施した取り組みを継続し、回収工程を見直し、溶剤回収の効率化を強化し、残渣等の排出量極力抑えます。		
	電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和7年度）実績】	
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		761.26 t	
(今後実施する予定の取組等)			
これまで実施した取り組みを継続し、回収工程を見直し、溶剤回収の効率化を強化し、残渣等の排出量極力抑えます。			
※事務処理欄			